

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスらららKids			
○保護者評価実施期間	令和8年 1月 16日		～	令和8年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18	(回答者数)	16
○従業者評価実施期間	令和8年 1月 22日		～	令和8年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数)	8
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 2月 19日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員体制、専門職（5年以上の児童指導員、保育士）を配置している。	専門職が中心となり、事業所内で研修を実施し支援内容のレベルアップを図っている。毎日の朝礼や事例検討会を通して、支援技術の向上を図っている。	外部研修への積極的参加。職場内研修や新任者研修など研修プログラムの充実を図る。
2	職員の「寄り添う心」が強み	寄り添う気持ちを持つために、まずは自分自身が幸せで、心に余裕を持っていることが不可欠である。良いサービスが提供できるよう、風通しの良い職場風土の醸成を行っている。	意見や疑問を自由に言え、ミスと責めず学びの場とする雰囲気醸成。
3	開かれた事業所を目指している	定期的なSNS（Instagram）の発信を行い、まずは事業所についての認知度を向上させる。	地域行事への積極的参加、学校との連携強化、広報活動の強化。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家族相談会等が実施されておらず、家族への支援が十分とは言えない状況にある。	家族支援には高い専門性が求められており、指導・助言体制が未整備。	外部研修への参加や事例検討会を通して、保護者対応スキル向上への取り組みを行う。
2	一部の家庭ではあるが、日頃の活動内容が保護者に伝わっていない。	家庭環境や多忙により、時間的・精神的に情報を確認する余裕がない。	多忙な家族の状況に寄り添った個別のヒアリングや家族相談会の実施を検討中。
3	通所者の状況等に対して、個室対応などが難しい。	人員配置の限界。個室は死角となりやすく、事故やトラブルの発見が遅れる。安易な個室対応は身体拘束に該当する。個室設置に対するコスト問題。	パーティションの活用。机の向きや配置の工夫。